

2019年度

とよひら

HANA-LAND

事業



活動報告

「とよひら HANA-LAND 事業」は、区民の皆さんと豊平区内を花で彩り、色彩豊かな美しい街並みを目指すとともに、花によるふれあいの場を通じて、地域の連帯やふるさと意識を育むことを目的として平成2(1990)年度から実施しています。また、この事業は、豊平区を訪れる方々を気持ちよく迎える「おもてなし」の取組の一環でもあり、令和元(2019)年度は約70,000株の花苗を植えて豊平区内を彩りました。

令和元年度ます花壇優良制作者として、南平岸地区の「平岸南ヶ丘町内会」が表彰されました

受賞者のコメント

平岸南ヶ丘町内会は、平成16年から「とよひら HANA-LAND 事業」に参加しています。今年も環境衛生担当者が花植えの準備をし、6月初旬に平岸高台小学校の子どもたちがおよそ500株のマリーゴールドを植えました。黄色やオレンジの単色、黄色とオレンジの2色咲きの計3種類のマリーゴールドです。環境衛生担当者は、子どもたちの植えた花が美しく咲き続けるように、責任をもって水やり、雑草抜き、花がら摘みをしました。7月下旬から8月上旬にかけての連日の真夏日も乗り越えて、街並みを彩り続けています。

平岸南ヶ丘町内会 環境衛生担当者：中村寿夫、堀内豊



おもてなし
とよひら

豊平区市民部地域振興課